

Blood Information

ブラッド・インフォメーション

献血月刊情報 2026年7月号

〔発行元〕岩手県赤十字血液センター献血推進課
〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6
TEL: 019-637-7201

CONTENTS

✓若年層の献血状況と今後について

✓夏場の暑さと献血の注意点について

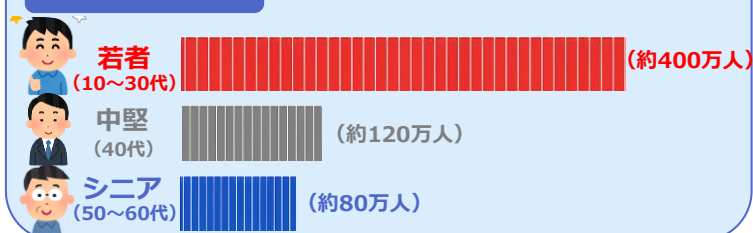
TOPICS

若年層の献血状況と今後

『献血月間情報2026年6月号』のトピックでもご案内した通り、若年層（10～30代）の献血者数が減少しています。それでは若年層の献血が減少すると今後どのようなことが起こるのでしょうか？今回は、献血状況の変化と若年層の「イマ」、そしてこれから起こりうる献血状況についてご紹介したいと思います。

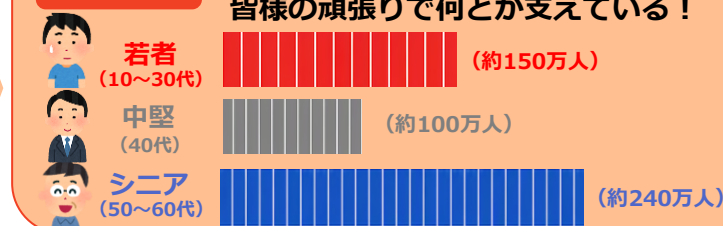
①献血してくれている人の変化

30年前（1996年）若い人たちが献血を支えていた！



現在

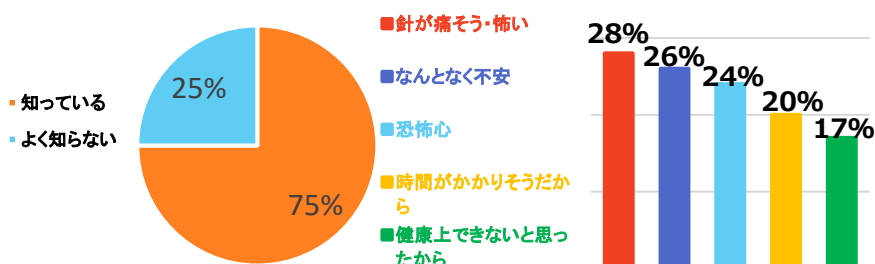
若者が半分に減り、シニアの皆様が頑張りで何とか支えている！



②若年層の「イマ」

若者は献血を知っている？

若者が献血に行かない理由トップ5



4人に1人は献血を知らない！また、行かない理由としては、針への恐れや漠然とした不安、恐怖心が多い結果となっている！

※採血の針に関する情報は2025年5月号に記載しています！ぜひご覧ください！

出典：厚生労働省「若年層献血意識調査結果報告書」

③これからの献血状況はどうなる？



若年層の献血が減少し、高齢者の血液需要が増えると輸血が必要な方々に血液が届かなくなる可能性も！

出典：厚生労働省「日本の未来を変える、若者の献血-今、若者の献血が必要な理由」



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。

岩手県赤十字血液センター

TOPICS

夏場の暑さと献血の注意！

7月に入り岩手県内も30℃越えの真夏日が続いており、8月も暑い日々が続く見込みです。暑い時期は汗をかくことで体内の水分が失われやすく、知らないうちに脱水症状になっていることがあります。脱水症状のまま献血をすると、めまいや吐き気などの副反応が起こりやすくなります。血液センターでは献血時に飲み物を提供しております。日ごろからこまめな水分補給を心がけ、十分な体調のうえ献血のご協力をお願いいたします！

安全・安心に
献血いただく
ために



こまめな水分補給
水のがぶ飲みはNG



睡眠中もコップ1杯程度の
汗をかいています
午前中は水分が十分に補給
できておらず、脱水傾向の
場合も

岩手県赤十字血液センターでは、HPだけでなく献血や血液に関する情報をSNSを通じて公開しています。ぜひフォローして最新情報をチェックしてみてください！

岩手県赤十字血液センターアカウント



アカウント名
@iwate_jrcbc

もりおか献血ルームメルシーアカウント

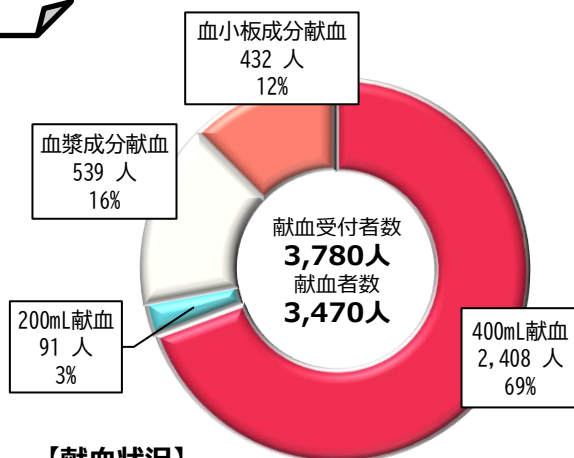


アカウント名
@meruci.iwate.bc

Data

岩手県の献血・供給状況（6月）

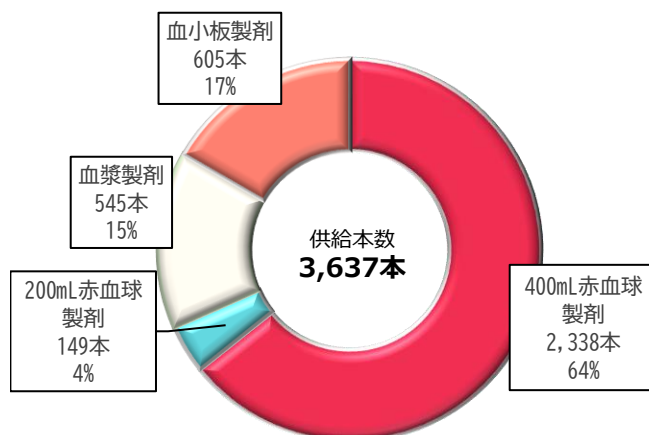
岩手県の献血状況



【献血状況】

全血献血は200mL換算で**4,907本**、400mL献血率（400mL献血者数／全血献血者数）は**96.3%**でした。

岩手県の供給状況



【供給状況】

血漿製剤は血漿成分献血からだけではなく、200mL献血や400mL献血からも作られています。

ホームページでも閲覧できます。

岩手県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/index.html>

Blood Information
ブラッド・インフォメーション
献血月刊情報